

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

2025/2/10現在

1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	日経平均高配当利回り株ファンド・証券投資信託
組成会社（運用会社）	三菱UFJアセットマネジメント株式会社
販売委託元	三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	わが国の株式を主要投資対象とし、主として配当収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	本商品は、中長期の資産形成を目的とし、元本割れのリスクを許容する方を想定しています。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

- （質問）
- ① この商品を購入することと、株式投資をすることでは、どう違いますか？
 - ② どのような観点から、この商品が私にふさわしいと考えられますか？
 - ③ 高配当というコンセプトには、どのような特色がありますか？

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	<ul style="list-style-type: none"> ●価格変動リスク 運用資産の市場価格の変動による影響を受けます。 ●信用リスク 投資先や取引先などの破綻や債務不履行による影響を受けます。 ●流動性リスク 市場の流動性が低く、想定より不利な価格での取引や取引自体が行えなくなることによる影響を受けます。
過去1年間の収益率	42.4%（2024年6月末現在）
過去5年間の収益率	平均21.0% 最低-21.5%（2020年10月）最高61.7%（2023年9月） （2019年11月末～2024年6月末における各月末の直近1年間の騰落率）※5年未満

※ 損失リスクの内容の詳細は、交付目論見書の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「投資リスク」「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載しています。

- （質問）
- ④ 今後、ファンド価格の下落幅が、過去の実績を超えるおそれがありますか？
 - ⑤ 日経平均株価が下がると、ファンドの価格も下がると理解しておけばよいですか？

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

（税込）

購入時に支払う費用 （販売手数料など）	窓口購入	インターネット購入
	* インターネット専用商品	1.10%
継続的に支払う費用 （信託報酬など）	信託報酬率 年率0.693%（税抜 年率0.63%）	
運用成果に応じた費用 （成功報酬など）	ありません。	

※上記以外に生ずる費用を含めて詳細は、交付目論見書の「手続き・手数料等」「ファンドの費用・税金」「ファンドの費用」に記載しています。

- （質問） ⑥ 料率の低いインデックス型の方が、投資家にとっては有利ですか？
⑦ この商品は、信託報酬が低い方ですか？

4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

償還期限	この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還の場合があります。
解約時手数料	この商品に解約手数料や信託財産留保額は生じません。
解約の制限事項	市場の閉鎖の場合等、換金・解約ができないことがあります。

※ 詳細は、交付目論見書の「手続・手数料等」「お申込メモ」に記載しています。

- （質問） ⑧ 換金や解約ができなくなるおそれは、現実的にないと考えてもよいですか？

5. 当金庫の利益とお客様の利益が反する可能性

手数料	ファンドの純資産総額に対して年率0.33%（税抜 年率0.30%）
-----	-----------------------------------

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページ「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」をご参照ください。

（URL） <https://www.numashin.co.jp/policy/files/fiduciaryduty.pdf>

- （質問） ⑨ あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。

6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

租税の概要	課税上は株式投資信託として扱われ、分配時、換金・償還時の所得に課税されます。 新NISA（成長投資枠）でご利用できます。
-------	---

※ 詳細は、交付目論見書の「手続・手数料等」「ファンドの費用・税金」「税金」に記載しています。

7. その他参考情報（契約にあたっては、当金庫Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

- ・ 販売会社（当金庫）が作成した契約締結前補完書面【目論見書補完書面】
（URL①） <https://www.numashin.co.jp/kojin/nyo/files/mokuromisyo.pdf>
※ PDF形式で掲載しています。

①



- ・ 組成会社が作成した【目論見書】
（URL②） <https://www.am.mufg.jp/fund/253439.html>
※リンク先は、当金庫が運営するホームページではありません。
当金庫はリンク先の表記等について保証するものではなく、一切の責任を負いません。

②



契約締結に当たっての注意事項等をまとめた【契約締結前交付書面】、金融商品の内容等を記した【目論見書】については、ご希望があれば、紙でお渡しします。



商号等/沼津信用金庫 登録金融機関 東海財務局長(登金)第59号

< 質問回答例 >

日経平均高配当利回り株ファンド・証券投資信託

	< 質問 >	< 回答例 >
①	この商品を購入することと、株式投資をすることでは、どう違いますか？	投資信託は、数10の銘柄に分散投資していることがひとつの特徴になります。単一銘柄で、一つの買い値にしばられないことがメリットになります。
②	どのような観点から、この商品が私にふさわしいと考えられますか？	年2回の配当収入へニーズがあること、また投資成果を最終的に得るまでに中長期の時間幅を持っておられる点などから、ふさわしいと考えます。
③	高配当というコンセプトには、どのような特色がありますか？	業績が良ければこそ良好な配当を続けることができる、という観点からすれば、優良な企業を選定対象している商品といえます。
④	今後、ファンド価格の下落幅が、過去の実績を超えるおそれはありますか？	株式市場が上昇を続けると、その分価格変動幅(標準偏差)も高くなるためその可能性はあります。
⑤	日経平均株価が下がると、ファンドの価格も下がると理解しておけばよいですか？	正確には、組入他対象銘柄の構成比率が異なっていますので、日経平均株価の下落幅と同じになる訳ではありません。
⑥	料率の低いインデックス型の方が、投資家にとっては有利ですか？	購入手数料は、入り口時点での大切な要素ではありますが、長期間の運用成果を考えると、あくまでも一要素でしょう。
⑦	この商品は、信託報酬が低い方ですか？	NISA制度のつみたて投資枠の対象となっている商品を除けば、比較的低い料率といえます。
⑧	換金や解約ができなくなるおそれは、現実的にないと考えるもよいですか？	日本の株式市場のみが対象市場であるため、可能性が低いことはたしかですが、システム上の混乱その他、可能性が皆無とはいえません。
⑨	あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか？	お客様ごとに、資産の状況やライフプランの考え方は異なりますから、一律に同じ商品を推奨することはありませんので、ご安心ください。